

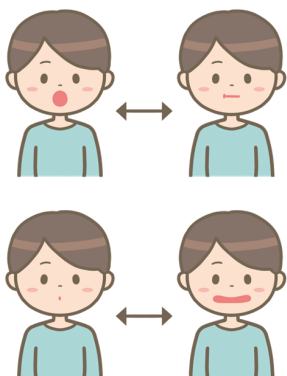
運動障害性構音障害とは？

**脳卒中（脳梗塞・脳出血）や
神経・筋肉の病気（パーキンソン病、ALS、
脊髄小脳変性症）**

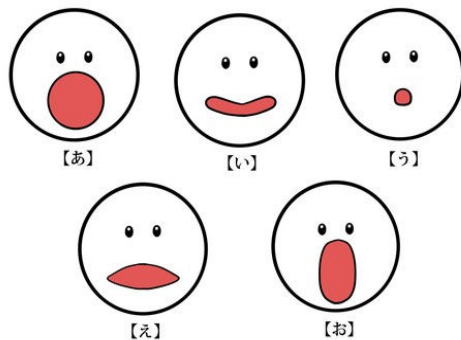
などが原因で、言葉の音を作る調音器官（舌、唇、顎など）の動きに問題が生じ、発音が不明瞭になる状態です。



具体的な症状



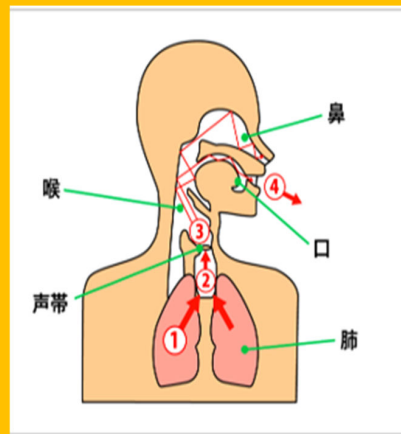
- ・ 呂律が回らない
- ・ 声が出しづらい
- ・ 声がかすれてしまう
- ・ 高い声が出にくくなった
- ・ 抑揚がなくなった
- ・ 声が震えてしまう
- ・ 声の大きさにバラつきがある
- ・ 聞き返されることが多い



構音のメカニズム

私たちが言葉を発するためには、以下の
4つの要素がスムーズに連動する必要があります。

- 1呼吸：** 肺から安定した量の息を送る（声のエネルギー源）。
- 2声帯振動：** 喉の声帯を振動させ、音源（声）を作る。
- 3共鳴：** 喉、口、鼻の空間で声を響かせる。
- 4調音：** 舌、唇、顎などの調音器官を動かし、特定の形を作り、音（子音・母音）に変える。



**構音障害は、できるだけ早期からのリハビリが
有効とされています。**

次回は具体的なリハビリについてお話します。

リハビリテーション科 言語聴覚士：田中静香



- 1面：認知機能訓練で お祭りの下準備 2面：第1回 ウェルケア交流会
3面：ネパール お国紹介 4面：言語聴覚士 ～運動障害性構音障害について～

認知機能訓練で お祭りの下準備



言語訓練では、認知機能訓練で裁縫等の手工芸を行っています。
今回は、お祭りの下準備として利用者様が着るセパレートタイプの浴衣を利用者様
自身の手で作成していただきました。



浴衣を上下に切って
上は甚平のように紐をつけ
下はラップスカートのように紐をつけます。
帯を巻き付ければ
簡単に浴衣が着付けられます！

女学校時代に浴衣を作成したことがある方も多く、その時の記憶が甦り会話が弾みます。



実際に高級呉服店で働いていた
Y様は流石の針裁き！

表には全く糸が出ない匠技が
今でも健在しています。

認知棟の方も動作性の記憶が保たれていることが多く、「昔取った杵柄」のごとく大変綺麗に縫ってくださいます。認知症の方はご自身の不調を訴えられないことが多いです。「昔は好きだった。」「よくやっていたんだけど今はやらない。」とおっしゃっている方の中には、老眼で出来ないだけという事がよくあります。100均の老眼鏡を準備しておけばこの通り！すいすい縫えてしまいました！！

作品ができるとご自身の自信にもつながります。「持って帰って仕上げるよ！」とおっしゃっていただいたときは、なんとも幸せな気持ちになります！

昔は着付けもしていた方がほとんど。浴衣に手を通すと自然と手が動いて紐を絞められる方も多くいらっしゃいます。ご家族様にも是非見ていただきたい光景です。

リハビリテーション科 言語聴覚士：三林慶子・田中静香



お祭りの様子は次回号でご紹介します！



第1回 ウェルケア交流会

ウェルケア交流会

口から食べ続けるためにできることを考えよう

開催日時 令和8年3月21日(土)10:00~12:30

開催場所 ウェルケア新吉田 1F デイフロア

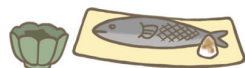
- 1、食事についてのお話
①摂食嚥下機能について ②認知機能と摂食嚥下機障害について ③適正栄養・水分量について
言語療法士 田中静香 三林慶子
- 2、施設での食事試食と嚥下食体験
管理栄養士 庄司葉子
- 3、懇談会（介護についてお困りごとはありますか）



食事の試食については庄司栄養士の協力のもと普通食と柔らか食、嚥下食の食べ比べを行い、嚥下食が思ったよりおいしかったと好評でした。

お話をする中皆さんいろいろな不安を抱えながら在宅介護を行っているのだと感じました。今後行ってほしい勉強会のテーマとして、嚥下食や柔らか食の作り方、オムツ交換の方法、移動介助の方法などのリクエストもいただきました。

今後も第2回、第3回と続けてほしいという声もいただき、今後もスタッフで協力し続けていければいいなと思っています。



看護介護部長 佐々木美幸

第1回 ウェルケア交流会

「口から食べ続けるために出来ることを考えよう」を開催しました。

高齢者において加齢や認知機能低下、嚥下機能の低下により食事摂取が困難になるケースが増加します。食事は健康維持だけではなく生活の楽しみでもあります。地域住民や介護者、支援者を対象に在宅介護や施設生活に生かしてもらうこと、ならびに地域交流促進を目的とし開催しました。

参加者13名もの方がお忙しい中来ていただきました。お母様がデイサービスをご利用されている参加者様からは、母がいつもどんなものを食べているか参考になった。自宅で介護されている方からは、嚥下機能がどのくらい落ちているかわからないが、手遅れになる前に改善したいと思って参加しました。などのお話がありました。

施設の言語療法士 田中STと三林STの講義はとても分かりやすく勉強になったとの声が多数聞かれました。

言語聴覚士と栄養士の講義と試食の様子



協田理事長のご挨拶



言語聴覚士の講義



ネパール お国紹介



皆さん、こんにちは。まずは、私たちの国（ネパール）の紹介の機会を頂き感謝致します。

ネパールは、南アジアに位置する美しい自然と多様な文化を持つ国です。インドと中国に挟まれています。

ネパールには世界最高峰の山、エベレスト（サガルマータ）があり、ヒマラヤ山脈が広がっています。トレッキングや登山が世界中の人々に人気です。

ダサイン（新年のお祭り）

首都はカトマンズで、歴史的な寺院や世界遺産が多くあります。

ネパールは多民族、多言語の国で、主にヒンドゥー教と仏教が信仰されています。お祭りも多く、特にダサイン、ヤハティールが有名です。

ダサインは、約15日間続きます。家族が集まり、年長者からティカ（赤い印）と祝福を貰って、ご馳走を食べてお祝いをします。



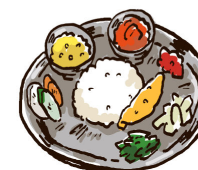
ティハール（お祭り）

ティハールは、光の祭りと呼ばれ、5日間続きます。

家や街をライトや蠟燭で飾って、犬や牛など動物にも感謝してお祝いをします。



日本とネパールの文化的なお祭りは異なりますが、日本の色々なお祭りをお祝いすることで日本について深く知る機会を頂いています。日本の文化をもっと知り、自国の文化のように大切に、利用者様と一緒に祝いをしたいと思っています。



バワナ、マニサ、マニラ

